

加須市立大利根中学校

国 語

単元名 悩める後輩に贈る言葉「論語」第3学年
教材名 学びて時にこれを習ふ - 「論語」から



「後輩に贈る言葉を考える」という学習課題を設定して
生徒の「主体的な学び」を引き出す工夫



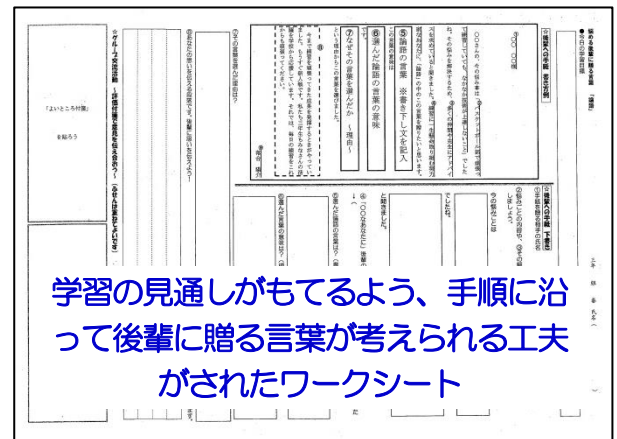
後輩に贈る言葉へ添える
自分の思いを考える

参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

【授業について】

- 教材研究に大変時間が割かれていることがよく分かりました。手順などの掲示物やワークシートなど、自分の授業づくりにおいて参考なるものがたくさんありました。
- 教材研究を丁寧に行っており、生徒が使う資料などの準備が大変素晴らしかったです。自分の授業の改善点にも気づくことができました。
- 細かく工夫された授業と、ワークシート、資料等に感激させられたと同時に、まだまだ研鑽が必要だと考えさせられました。ありがとうございました。
- 資料やワークシートの準備から素晴らしいものを作っており、課題の立て方や単元の計画の立て方など、参考になる点が非常に多く、勉強になりました。今後に活かしていきたいです。
- 自分が受け持つ学年と同じ3学年ということでしたが、自分がやった時とは全く違い、生徒たちが主体的に活動している姿が印象的でした。



学習の見通しがもてるよう、手順に沿って後輩に贈る言葉が考えられる工夫がされたワークシート



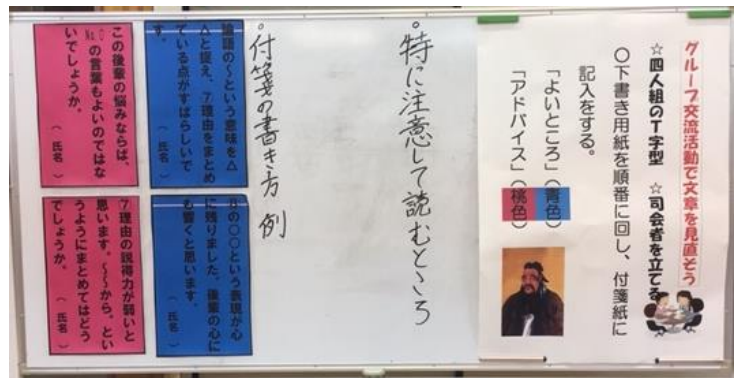
苦手な生徒へはヒントカードを提示

○生徒が主体的に動けるような手立てがたくさんあり参考になりました。印象的だったのは、苦手な生徒への手立て（ヒントカード）、早く課題に取り組んだ生徒への手立て（チャレンジカード）があったことは非常に参考になりました。

○いつも「論語」の授業では、「自分の座右の銘を選ぼう」という形でやっていました。学年を越え、後輩にアドバイスというのはとても新鮮でした。

○私も昨年度と今年度「論語」の授業を行ったのですが、グループ活動の仕方が難しく感じました。本時では、普段からグループ活動を経験していることがうかがえました。本日の授業を参考にさせていただき、自分の授業に反映したいです。

○校種は違いますが、話合いの観点や、付箋を使ったアドバイスカードを子供同士で貼り合うなど、すぐにも実践したいものがたくさんありました。



話合いの視点とアドバイスの例を明示

【研究協議について】

○普段は校内の先生方や市教委の先生方の御指導までですが、授業研究会に参加することで、様々な視点に触れることができました。もうすでに終わってしまった单元なのが悔しく思うほどでした。今後に生かしていきたいです。

○今の私では目の届かないところまで見ている先生がいたので、意見を交わし合っていて様々なことを学ぶことができました。また、それぞれの班でさまざまな意見が出ていたので、1つの授業に対し、多くの視点で見ることの大切さを感じることができました。

○班の中に小学校の先生もおり、中学校とは別の視点での話もできました。自分では気づかなかったことも話合いの中から見えてきて、授業の良い点、改善点を話し合うことで今後の授業に活かせそうなことも見つけることができました。疑問に思っていたことも話合いの中で解決でき、明日からの授業で取り入れていきたいと思えます。大変ためになる協議でした。

○グループの人数や付箋の活用など、日ごろは気づかない工夫を発見でき、大変参考になりました。根拠を示す語彙力も豊富で、さすが中学校の国語の先生方、と思いました。対話を「書く」活動で行う良い例が見られてよかったです。しっかり自校に持ち帰りたいです。



付箋を使いアドバイスを記入



授業者から授業の工夫点を説明



授業者を交えての研究協議